

今回はまず12/5に行われた校名・園名小委員会についてお知らせします。公募案も含めて検討し、キーワードとして「昭和」と「五つ星」が挙がりました。「昭和」とは、昭和地域であるため、必ず入れたほうがよいという意見がありました。「五つ星」は地域になじみがあり公募でも多数あったこと、また、歴史的にみても、昔、昭和中・富山小・下倉小・日美小・維新小の五校であったという意味合いもあるという意見でした。協議の結果、①昭和学園②昭和五つ星学園③昭和五星学園に絞られました。12/9の開校準備委員会において、校名・園名小委員会副委員長の川齋よりこの3案が提案され協議されました。委員のある方からは「昭和vs五つ星」が「51vs49」で決めがたいという意見もありました。協議の結果、「昭和学園」と「昭和五つ星学園」の2案になりました。正式名称となると校名の後に、義務教育学校をつけることになり非常に長い名称になることも指摘されました。開校準備委員会においても、1つの案に定まらず、①昭和学園②昭和五つ星学園の2案が市教委・校園長会へ提案されることになりました。

12/13に市教委・校園長会が行われ、浅沼準備委員会委員長より2案が提案され協議されました。やはり協議のポイントとして「五つ星」を名称に入れるか入れないかが焦点となりました。本当に地域になじんでいるのか？新しい学校なので五つ星を使用しなくてもよいのでは？五つ星の意味も伝えていく必要があるのでは？などなど活発に協議され、今回もまた最終的に2案が教育委員会に提出されることになりました。

12/16の教育委員会では、校園名・ブロック制・学校教育目標・めざす子ども像などが協議されました。今回は、校園名とブロック制についてお知らせします。協議の結果、校園名は「五つ星」の名称が地域になじみがあることが決め手となり、『昭和五つ星学園義務教育学校』『昭和五つ星学園幼稚園』に決定され、2月の市議会に提案されることになりました。

ブロック制については、新しい学校の特色として12年間通して子どもを教育すること、幼稚園との連携を大切にすることが挙げられ、義務教育学校ではありますが、併設した幼稚園も含めた『3・5・4制』に決定されました。学校教育目標とめざす子ども像については次月号でお知らせします。

〈校園名〉

昭和五つ星学園義務教育学校
昭和五つ星学園幼稚園

〈ブロック制〉

3・5・4制

幼稚園も含めた12年間で子どもを育てる

〈五つ星学園の子どもの様子〉

昭和幼



維新小



維新幼



昭和小



昭和中

